

## ニーズ調査票に対する意見と対応方針

## 就学時前児童保護者用

## 全般に対するご意見

	ご意見	対応策
1	家族の状況調査の質問あたりで、「お子さんをあと何人お産みになる計画ですか」設問追加してはどうか。	次世代の調査の時も提案として挙げたが、身体的・精神的に産みたくても産めない等の方への配慮もあり、アンケートの内容として設問するのは控えた経緯がある。
	それぞれにその理由を聞いてはどうか。	(少子化対策のヒントになる回答が得られると期待できるが)  平成25年3月に内閣府がまとめた「子ども・子育てビジョンに係る点検・評価のための指標調査」報告書の中で、「理想的な子どもの数」「将来子どもをもつときの不安」等、調査集計している資料があり、全国調査ではあるが、和歌山市としても十分参考になるものと考えます。
2	「定期的な教育・保育事業」を利用する上で不便を感じていることを聞く設問があればよい。	事業内容のニーズ把握になるであろうが、今回の調査はニーズ量を測り、量に応じた環境を整えるという目的が大きく、少し趣旨がぶれてくるため、追加せず。また、問13-5回答9その他に回答いただく内容で把握できるとしている。
3	設問分量が多く、回答してくれるか不安が残る。	回収率に不安は残るものの、回答してくださる市民の方は子育て支援に対してそれだけニーズがあると捉え、ニーズ量に反映していく予定。
4	設問分量が多いので、回収率が心配である。	
5	回答してくれるのは意識が高く、回答する余裕のある方だと思うが、余裕のない方のニーズを引き出す策も必要ではないか。	回答をいただけない場合はニーズ量へのカウントは難しくなるが、事業・施策等の内容のニーズについては、当会議の委員に子育て中の親と関わる法人代表の方や子育て中の市民の方にご協力をいただき、回答をいただけなかった方のニーズも拾うことができるようにしていきたい。
6	実際回答してみるが、大変な作業量であり、ネット回答でも対応すれば、回答率がアップするのではないか。	ネット回答でも対応
7	妊娠から出産、子育てに至る間、継続して就業出来るための職場の理解の有無について設問してはどうか。	職場の理解度については、問29以降の各設問中、例えば「制度を利用できなかった理由」等の回答で量ることが出来るものと考えます。

個別の質問に対するご意見

	ご意見	対応策
P 1	【ご記入にあたってのお願い】内1「アンケートにはお子さんの保護者の方」の「お子さんの」が不要ではないか。	アンケートのあて名は子どもの氏名であるため、「あて名のお子さんの」に変更
P 2上	●2つ目の文章が長く、2つの文章に分けてはどうか。	国のイメージを利用しており、文章の内容として長い文面のところは並列のものなので、2つの文章に分けるのは困難。
P 2中	「放課後児童クラブ」という表現でなく「学童保育（若竹学級）」という表現のほうがよい。子ども会を追加してはどうか。	和歌山市用に変更するのがベストだが、国からの図のデータであるため、変更が出来ない。国の考えとして、図はこのままとし、注釈で和歌山市での放課後児童クラブは学童保育（若竹学級等）であることを説明して対応する。子ども会については、市内全域に放課後自由に利用できる体制になっていないので追加せず。
P 2下	用語の定義に「若竹学級（学童保育）」を追加した方がよい	「学童保育（若竹学級等）」の説明を追加する。
問9	回答の誘導先が間違っている	「問9-2へ」を「問9-1へ」に訂正 「問9-1へ」を「問9-2へ」に訂正
問9-1	回答欄2, 3の「祖父母」の後に「等」が抜けている	「祖父母等」に訂正
問11	自由回答欄をもう少し広いほうがよい。	自由回答欄を広げる。
問12	(2) 父親の回答欄1行目「産休」の表示がおかしい。	「産休」を抜く。
問13	※の「問14-1」の表示が間違っている	「問13-1」に訂正
問13-1	回答選択肢4「認可保育所」を「認可保育所（園）」とした方がよい。	「認可保育所」を「認可保育所（園）」に訂正
	回答欄8ベビーシッターと括弧書きで示した方が分かりやすい。	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビーシッター等）に変更
問13-4	「（子育てに困難を感じており）子どもを預かってほしい」等の子育てを手伝ってほしいという気持ちから教育・保育の事業を利用している方の選択肢を追加してはどうか。	教育・保育の事業を定期的に利用する本来の理由ではないため、選択肢に加えにくく、その他で対応していただく。
	回答1（ ）内の意味が分かりにくい。	国のイメージを利用しており、現在の意味合いを表現するには原文がベストかと考える。
問13-5	回答選択肢の中に「保育所を利用したいが、利用できる条件（保育に欠ける）にあたらなため」を追加してはどうか。	保育を必要としない状態であるので、利用できないということであれば「1母親か父親が就労していない等の理由で利用する必要がない」にあたるかと考える。または9その他への記入により対応できるとする。
問16	回答欄2「当該自治体で実施している」とは自治体が実施している事業（例えば子育て広場など）ということか、自治体内で実施されている事業（例えばサークル）なのか不明。	自治体が実施しているか否かに関わらず、地域子育て支援事業以外で利用している事業等が確認できればよいとしているため、「当該自治体で実施している」を削除し、「その他類似の事業」とする。
問18	選択肢の中に「母子家庭等生活支援員派遣事業」を追加してはどうか。	対象が子育て中全ての方でないため、追加せず。

問21	問中表示が間違っている。	「(問12で・・・)」を「(問13で・・・)」に訂正
問21-4	回答欄5「利用料がわからない」を「手続き方法・利用料がわからない」に変更してはどうか。	広報活動の問題としてとらえる回答として、「手続き方法・利用料がわからない」に変更
問21-5	問の( )内の内容がおかしい。	『「ウ」から「ケ」の日数』から『「3」から「9」の日数』に訂正
問23	設問中( )内「利用の有無については・・・」の表現がおかしい。	「利用の有無」を「利用希望の有無」に訂正
問24	回答の票の表示がおかしい。	「1年間の対処方法」の行と「1あった」の行を入れ替え
問25	回答「4学童保育」と回答した後の誘導は必要ないのではないか。問26も回答必要ではないか。	「⇒問27へ」誘導削除。合わせて問26の「⇒問27へ」誘導削除。
問29	「2取得した」と回答した方に取得期間を設問してはどうか。	「⇒問29-2へ」を「→取得期間( )日」に訂正。
	(1)母親の回答欄2の⇒後の誘導がおかしい。	
問29	回答欄(1)母親の選択肢内で「働き続けたかったが、妊娠・出産を理由に退職した」方は「1働いていなかった」に回答することで、(取得していない理由)を聞くことが出来ないが、聞いた方がよいのではないか。	回答欄(1)母親の選択肢3「取得していない」→「取得していない(妊娠・出産を理由に退職したかたを含む)」に変更し、対応する。
問29-2	設問に「母親」に限定しているのがおかしい。	「母親が」を「(1)もしくは(2)で「2.取得した(取得中である)」」に訂正・変更
問29関係	問29-4のあとに問29-6を挿入し、「問29-4-1」とした方がよい。	問の回答に対して枝番をつけていくという形に整理するということだと思うが、枝番が多くなり、表示も長くなるため見づらく、混乱するのではないか。
	「問29-8」を「問29-7-1」にした方がよいのではないか。	
	問29-7の設問が繰り返すためややこしい。	問29関係については、設問時例えば「問29-2(1)もしくは(2)で「1」を選ばれた方におうかがいします。」を「問29-(1)もしくは(2)で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうかがいします。」に変更し、誘導元を分かりやすくする。 問29-2、問29-3、問29-4、問29-5、問29-7、問29-8、問29-9の設問変更する。
	「問29-6」と「問29-7」の設問の順序を基づく設問の順に入れ替えたほうがよいのではないか。	
問29-8	問中『「2」を選ばれた方にお伺いします』が「3」を選ばれた方』の間違い	「2」を「「3.利用したかったが利用しなかった(利用できなかった)」方にで」に訂正
問33	回答の表示が分かりにくく、上から下まで順にならべるほうがよい。	回答選択肢の見やすいよう2列にする。
	子育てに関する悩み事の設問だが、子育ての悩みの前提として、生活の悩み(例えば、経済的な悩み、配偶者や親族との人間関係等)があって、結果子育てへの困難を抱えている場合、そのような方をこの設問では拾えない様に思うため、子育て以外の心配事や不安をききだすことも大事ではないか。	今回は子育てに関する悩みに特化したい。生活の悩みの上に子育ての悩みがある場合もあるとは思いますが、設問が煩雑になることもあり、生活の悩みも踏まえての子育ての悩みを具体的に確認する内容として回答いただきたいと考えている。
問34	設問に対しての回答が1つとはかぎらないのではないか。	次世代の時の調査の設問と同じくしており、傾向を見たいため回答は1つ
問39	自由回答欄をもう少し広いほうがよい。	ページ数上難しい。